



①ごみピットに集まったごみの量に驚く ②ごみ計量機に自分たちも乗ってみて興味津々 ③集積所に積み上げられた粗大ごみの山 ④・⑤センター所長からごみ処理について学ぶ ⑥選別・圧縮された空き缶

# —特集— みんなで考えよう ごみのこと

「たまご1個分の  
ごみを減らそう」

たまご1個 ÷ 46g  
(Sサイズ)

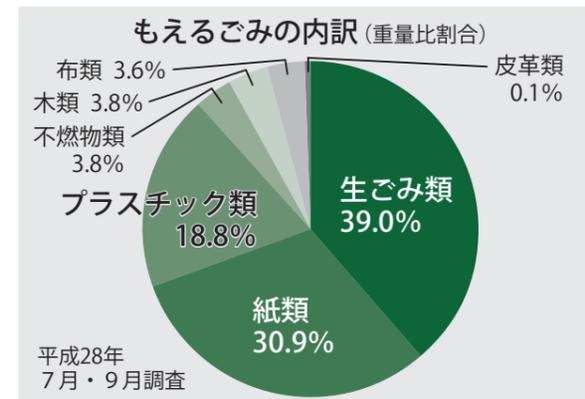
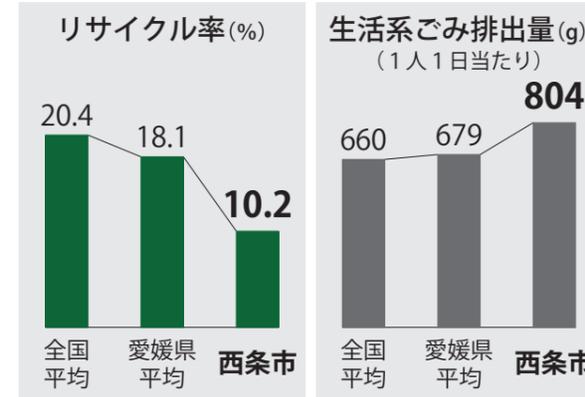
西条市ごみ処理基本計画では3年後までに家庭ごみを1日1人あたり46g(たまご1個分)減らすことを目標としています。

西条市の家庭ごみ排出量は県内11市で8年連続「最下位」。この状況から抜け出すためには何が必要でしょうか。

## ▼STEP 1 8年連続で「最下位」

西条市の家庭ごみの排出量が、県内11市で最下位なのをご存じですか。平成27年に家庭から出たごみの量は、1人1日当たり約804グラムでした。県内11市の中では平成20年から8年連続で最多となっています。さらに、ごみのリサイクル率は約10・2%で、県平均や全国平均に比べると低い数字となっています。なぜこのような状況になっているのでしょうか。どのようにすればごみを減らし、資源化できるのか、一緒に考えてみませんか。

▼環境省の一般廃棄物処理実態調査結果(平成27年)から



■生ごみ/紙/プラスチック 私たちが出す「もえるごみ」にはどのようなものが多いと思いますか。重量比割合では、4割近くが「生ごみ類」で最も多く、約3割の「紙類」と約2割の「プラスチック類」を合わせると、この3種類で全体の9割近くを占めます。食べ残しをなくす、生ごみの水分を絞る、リサイクルできる紙類やペットボトルは資源ごみとして出すなど、日常生活の中で少し意識を変えただけでごみは減らすことができます。現在「もえるごみ」として収集しているプラスチック製の容器・包装類は、今後、分別による資源化に向けた取り組みを進めていきます。

## ▼STEP 2 みんなで学び考えよう

6月20日、国安小学校の4年生が社会科見学で小松町大頭の道前クリーンセンターを訪問。最初にセンター所長から、施設の概要やごみごどのように処理されるかを学びました。施設内の見学では「ごみピット」に貯められた収集ごみの多さに驚いていた子どもたち。巨大なクレーンを職員が遠隔操作してごみを運ぶ様子を、興味深そうに見ていました。屋外の資源ごみ置き場や、収集車が運んでくるごみの量を計測する「ごみ計量機」なども見学。最後に「ごみを減らすために「食べ残しをしない」「買い物のときはマイバッグを使う」など、自分たちができることを発表していました。

■悲鳴を上げるクリーンセンター 稼働開始から26年が経過している道前クリーンセンター。毎年、老朽化による施設の修繕が必要となっており、修繕費用がかさんでいます。今後、新施設を建設するとなると、さらに多額の費用がかかります。ごみの発生を抑えることは、処理コストの削減だけでなく、施設の負担も軽減され、延命化にもつながります。

### 最後は埋め立て処分

ごみは道前クリーンセンターに運ばれた後、全てなくなるわけではありません。燃やした後の灰や、「もえないごみ」の中でリサイクルできない物は、埋め立て処分されます。当然のことながら埋め立て場所も無限にある訳ではありません。

### 学習を終えて——



越智愛良さん(左) ごみを運ぶクレーンがすごかったです。マーガリンの箱が資源ごみだとは知りませんでした。

圓城寺 咲さん(右) いろいろな物がリサイクルに出ました。雑誌のみは雑誌と一緒に出すことを親に伝えたいです。



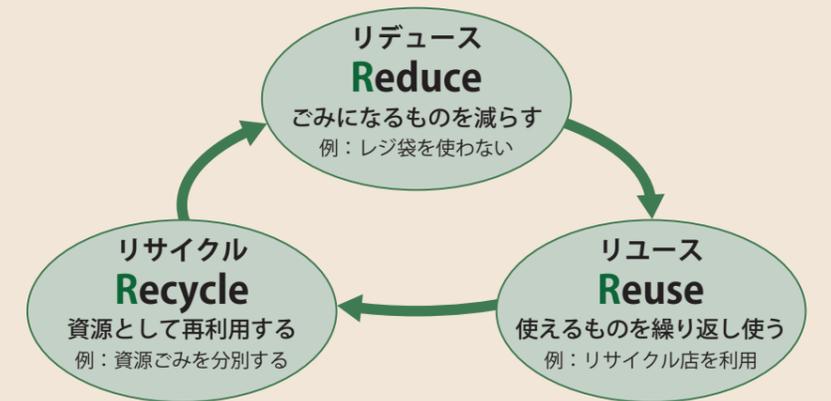
青野蒼大さん(左) ごみピットにたくさんごみが入っていました。使えるものは繰り返し使うようにしたいです。

関口雄鷹さん(右) ごみがいっぱいあったので驚きました。ビニール袋や座布団など、いろいろな物がありました。

豊かな自然環境を守るため  
循環型社会を目指す取り組み

## スリーアール 3Rをご存じですか

市では3月に「西条市ごみ処理基本計画」を策定。3Rの推進によって循環型社会(限りある地球の資源を有効に繰り返し使う社会)を目指しています。



▼STEP3

まずはできることから

ごみを減らし、資源化を進めるためには、市民の皆さんの日々の行動がとても重要です。普段の生活の中で、ごみの分別やごみ出しのルールがきちんと守れているか、いま一度見直してみよう。  
ここでは、簡単にできるごみの減量・分別の方法をお伝えします。

▶ペットボトルは資源ごみ！

貴重な資源となるペットボトルは、きちんと分別しましょう。



キャップをはずし、中をすすぐ



つぶしてから  
「資源ごみ」の日に出す

▶生ごみの水分を絞るだけで簡単にごみ減量！

知ってましたか？

生ごみのほとんどは水分です。しっかり絞ることで減量可能。悪臭や腐敗の防止にも効果的です。



水切りネットなどでしっかりと水切りを

▶食べる分だけ買うのが鉄則です！

食べ残しや手付かずの食品をなくすために、必要な量だけを購入して、おいしく食べきりましょう。



捨てる部位が少なくなるように調理方法を工夫することも大切です

▶菓子箱などの「<sup>ざつ</sup>雑がみ」は資源ごみとしてリサイクル！

知ってましたか？

「もえるごみ」の約3割を占める紙類。リサイクルできる紙を「もえるごみ」として捨てていません。



リサイクルできる「雑がみ」の例

- ティッシュペーパーの箱
- トイレトペーパーの芯
- 菓子・食品などの箱
- 包装紙
- 紙袋
- はがき
- ノート
- カレンダー
- 封筒



※ビニール・シール・金属などは取り除く。



「雑がみ」は「雑誌」と一緒にひもでしばって出しましょう

▶補助金・出前講座

ごみの減量・たい肥化・再資源化を推進するために次の補助金を交付しています。

- 生ごみ処理機などの購入費補助金
- 資源物リサイクル活動奨励補助金

また、職員がごみの減量・分別方法やダンボールコンポストなどについて説明する出前講座も行っています。詳しくはお問い合わせください。

■問合せ 市庁舎新館2階 環境衛生課  
Tel.0897-52-1338

▶ダンボールコンポストを活用！

ダンボールコンポストは、ダンボール箱を使った生ごみ処理容器です。微生物の力を使って生ごみを分解し、たい肥化させることができるので、家庭菜園などに利用できます。

市民向け講習会の日時・参加方法は環境衛生課にお問い合わせください

